

第31回 川北まつり 手取の火まつりを開催

第3回川北まつりのシンボリ火」の炎が夏まつりの恒例の鮎のつかみどりに始まり、バザーの露店が賑わうなか、音と光の祭典が幕を開けた。オープニングの和太鼓フェスティバルでは「中庄虫送り太鼓保存会」、「摩瀬河撫子舞」によるよさこいがまつりに華を添えた。

そして、夕闇が迫る頃、手取亢龍太鼓の演奏で第31回川北まつり「手取の火まつり」の幕が

和太鼓フェスティバル



開け、会場の「川北まつり」の火文字に点火されると、町民と観客が参加した送り火行列の光の列が会場に流れ込んだ。そして町内十七地区の虫送り太鼓の競演が行われ、川倉の火にも火が入ると、会場は熱気に包まれた。

いよいよメインの大かがり火に点火されると、赤い大きな炎が渦を巻きながら一気に大かがり火を込み込み、虫送り太鼓の乱打の音が響く中、川北まつり最高潮の盛り上がりとなつた。

燃え盛る大がかり火



送り火行列



ターマインパレード、ファイナーレにはあばれ川県民花火2000連発など2万発の多彩な花火が打ち上げられ、観客を魅了した。また、ペアシート席では初めての試みで結婚情報誌ゼクシィによるプロポーズ企画も行われた。

翌日は早朝から、まだ火の燃る大かがり火の後片付けと、会場内のゴミの清掃に汗を流した。

会員の皆様のご協力のおかげで事故もなく、31回目のまつりも無事終了することができました。本当にありがとうございます。

ターマインパレード、フイナーレにはあばれ川県民花火2000連発など2万発の多彩な花火が打ち上げられ、観客を魅了した。また、ペアシート席では初めての試みで結婚情報誌ゼクシィによるプロポーズ企画

まつり絵画コンテスト



銀賞 実行委員長賞

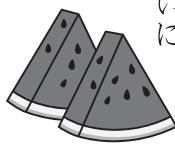


金賞 北國新聞社長賞



特選
大會長賞

◇佳作
清水 愛
村田 真
富岡 天
室谷 聖
小川 刚
番匠 勉
子供たち



子供たちの絵は、7月15日から8月7日まで行燈の中絵として、役場前のかが

番匠 小川 室谷 村田 富岡 清水
剛輝 聖矢 天舞 真也 楓華 愛佳
(橘小) (橘小) (川北小) (中島小)

銀賞「実行委員長賞」に寅
松奈月さん（中島小）が選
ばれた。

その他入賞された方々

まつり絵画コンテストが6月21日に行われ、川北町各校下の小学校6年生88名が描いた絵が出展された。審査の結果、特選「大会長賞」に大山拓海さん（橘小）、金賞「北國新聞社長賞」に清水天汰さん（川北小）、

10

7月初旬、73名の会員

作業内容や手
順を確認してあ

大かがり火・かがり火の建立作業

8月3日の



大かがり火完成



作業内容や手順を確認しあい、建立作業に臨んだ。川北まつりから遡ること1週間前の土曜日。7月30日の早朝6時半より会員は製材コアの束ね作業に汗を流し、引き続き大かがり火かがり火委員が中心となり、丸一日をかけて大かがり火の芯となる鋼管に柴や竹を巻きつける作業が行われた。





東京で川北まつりをPR

本年度の重点事業の一つとして計画された「首都圏からの観光客誘致」の一環として、6月23・24日に、小野島会長と北敏一氏（トラベルシティ社長）中村事務局長の3人が、都内の旅行代理店や県東京事務所などを訪ね、川北町と川北まつりの魅力をPRした。

旅行代理店4社を訪問

石川県旅行業協会長をしている北さんの案内で、日本旅行などの旅行代理店4社と、県東京事務所・銀座のアンテナショップ「いしかわ百万石物語江戸本店」などを訪ね、川北まつり是非来てくださいと説明した。

担当の方々とお話ししても「手取りの火まつり」に大変興味を示され、「いい祭りですね。是非つてみた」「いい」と言われ、少しでも町のPRをしたい」と思っていいくことの大切さを実感した。



月刊誌「旅の手帖」に 川北まつりが掲載されました！

昨年、南加賀商工観光推進協議会で行われた講演会に、講師として来県された旅の手帖編集長とのご縁から、この度、8月号の《日本一大花火特集》の中に、川北まつりが選ばれ大きく紹介されました。

記事では、秋田大曲や長野諏訪、新潟片貝などの全国でも有名な花火大会のほかに、川北まつりの花火大会も選ばれ、先の東京でのPRとも相まって、川北町の魅力発信にも一役買うことになった。



川北町観光物産協会の総会が、7月1日に開催され、本年度事業として「かわきた味噌豚どん」や地ビールによる川北町のPRをしていくことが決まった。また、先に実施された「首都圏における川北まつりのPR事業」の報告があり、東京でも「手取りの火まつり」に担当者が興味を示していたことなどが報告された。



川北町観光物産協会総会 首都圏でのPRを報告



